Ｗriting Series

☆ねらい

　この活動のQ&A活動を通して、様々なパターンの質問文に対して、ふさわしい応答パターンを身につ

けることができる。また、Small Stepを踏んだ各活動に取り組むことにより、応答文を少しずつ長くしたり、DialogueからEssayへと書く英文の量を自然に増やすことができる。

☆扱う場面

・全学年

・Q&A活動→帯活動、授業でのWarm Up

・＋１sentence→帯活動、授業でのWarm Up 、家庭学習

・Dialogue →授業でのWarm Up、家庭学習　　　・Essay Writing→授業でのWarm Up、家庭学習

各ステップの活動毎に時間や場面を区切って、次回はその続きから取り組ませることで効果が高まる。

☆指導の手順と留意事項

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導の仕方・留意点等 |
| 1. Q文を一斉コーラス
 | ・Q文のパターンに慣れさせる。 |
| 1. 説明を聞く。
 | ・生徒の学年や実態に応じて、説明の必要があればおこなう。 |
| 1. 応答する際の「コピー箇所」を確認する。
 | ・応答する際のポイントを説明する。 聞かれた言い方をコピーすると良いと伝える。例）　What food do you like ? 　　　 　　　　　 I like sushi.What are you into now? 　　　 　　　 　 I am into movies.What country do you want to go to ? I want to go to Italy. |
| 1. A文を書く。
 | ・説明やアドバイスを参考にさせながら、各自でA文を書かせる。・時間設定あり。 |
| 1. ペア活動で、A文＋１sentenceを言い合う練習をする。
 | ・各ペアで、Q文を言い、それに対して自分が書いたA文にプラス１sentenceして答えさせる。　　・時間設定あり。・ペアの答え方のパターンからお互い学び合わさせる。・答え方に自信がない場合は、ペアが教えてもよいと助言する。（学び合いの場） |
| 1. A文＋１sentenceを書く。
 | ・自分がペア活動で話した英文を思い出させ、書かせる。　・時間設定あり。・まずA文を書き、プラスした１sentenceを書かせる。 |
| 1. 教師がQ文１つを指定し、それを

Dialogue形式にする。 | ・教師が、１つ選択して選ぶのは、DialogueになりやすいQ文がよい。「指示例）What do you do in your free time?　とAさんから聞かれたとする。あなたはBさんになって、会話をつないでいこう。」・相づちや同意、確認などの表現も可。種類や表現パターン例を教えておくと生徒が書き進めやすい。 |
| 1. ＥｓｓａｙWritingに取り組む。
 | ・書き始めと終わりのパターンを指示する。　例）Hello, I’ll talk about cooking. ------------------Thank you.　・Dialogueの形式のQ文を省くと、A文だけが残る。それをつないでいきながら、間にさらに新しい文を入れて増やしていくことにより、エッセー文になることを知らせる。 |